

新たに発生が確認された病害虫(*)、今後の発生に注意を要する病害虫等 (令和3年)

農作物名	病害虫名	発生地域	発生確認年月	発生・被害の概要等
やまのいも (ながいも)	腐敗細菌病* (仮称) 【種名確定】	十和田市 東北町 五戸町	平成30年～ 令和2年	ながいもでは、以前から収穫時又は収穫保存後に担根体(イモ)の腐敗が認められており、近年入手したサンプルの分離細菌について病原性及び細菌学的性状の確認並びに遺伝子解析を行った結果、 <i>Pseudomonas allii</i> による新たな病害であることが明らかとなった。 病名を「ヤマノイモ腐敗細菌病」と学会に提案している。(野菜研究所)
にんにく	ネギオオアラメ ハムシ* 【日和見食害】	田子町	令和3年 4月23日	1筆10aのにんにく栽培で確認され、黒色幼虫による食害は地際部の葉身に集中し、立茎部(葉鞘)への食入や上位葉の食害は認められない。周辺は場や他地域での発生はなく、加害時期や被害箇所も限定的で、減収につながるような状況には至っていない。なお、羽化成虫の形態特徴からネギオオアラメハムシと同定した。 (三八農業普及振興室・病害虫防除所)
さつまいも	基腐病* 【局所発生】	深浦町	令和3年 6月23日	サツマイモ基腐病の感染苗の県内流通があるとの情報を受けて、福島県の種苗店から個人販売された生産者の現地確認を行ったところ、購入から譲渡された家庭菜園1件で枯ちよう株が確認された。 疑義症状株を農研機構に同定依頼し、サツマイモ基腐病と同定された。なお、発生は限定的で、他地域での発生は確認されていない。(病害虫防除所)
しゅんぎく	葉枯細菌病* 【局所発生】	十和田市	令和3年 7月下旬	野菜研究所に持ち込まれたしゅんぎく葉の黒褐変症状株について、分離細菌の病原性の確認及び16SrRNA遺伝子を解析したところ、 <i>Pseudomonas syringae</i> と高い相同性を認め、葉枯細菌病と判定した。 (野菜研究所)
ねぎ	ネギハモグリバエ 別系統(B系統)* 【発生拡大】	平川市 弘前市	令和3年 8月下旬 ～9月下旬	定期巡回調査で発見された疑似症状株から得た成虫を農研機構に鑑定依頼し、ネギハモグリバエ別系統(B系統)と同定された。その後、別系統によるものと推察される食害が弘前市と平川市の別ほ場でも観察されている。 別系統による食害株は葉鞘先端部を集中的に激しく食害される。一つの食害株に50頭以上の幼虫が寄生している特徴がある。(病害虫防除所)
こまつな	ハクサイハダニ 【特異発生】	蓬田村	令和3年 12月下旬	トマト後作のこまつな(特別栽培農産物)のハウス4棟で発生。寄主範囲が広いいため、今後の発生拡大に注意を要する。 (東青農業普及振興室)